



横浜市立恩田小学校

学校だより 4月号

発行 平成30年 4月5日



平成30年度に夢と希望をもって

校長 古屋 澄人

今年の桜の開花は例年よりも早く、裏門の桜の開花は3月23日の修了式の時でした。

今日から新学期。平成30年度のスタートです。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

平成30年度は新1年生を64名迎え、全校児童472名でのスタートとなりました。4月は子どもたちにとっても職員にとっても、そして保護者や地域の皆様にとっても新たな出会いの季節になります。そんな出会いを大切に、平成30年度のスタートをきることができたらと願っております。

さて、昨年度の学校評価では、保護者、地域の皆様からの貴重なご意見をいただきました。そのご意見を踏まえつつ、今年度も本校の学校教育目標である「自分を見つめ 学びの中での成長を実感し 共に高め合っていく子」の育成に向けて、地域とのつながりを大切にした教育活動を進めてまいります。特に今年度から移行期間に入る新学習指導要領でも掲げている「主体的・対話的で深い学び」を重視した教育活動の実現に向けて、次の目標をもとに取り組みたいです。



知：自ら学び続け 様々なつながりの中で 自分の考えを深める子

- ・「自分の考えを深める子ども」に向けて、子どもたちの身近な出来事から課題を見つけ、主体的に考えることができる子どもを育てます。

徳：礼儀を大切にし 思いやりのある 平和を願う子

- ・豊かな心の育成を目指し、礼儀を大切にした気持ちのよい「あいさつ」ができる子どもを育てます。

体：自分の心と体の成長に関心をもち 体力の向上に努め 生命を大切にする子

- ・自らの体力づくりに取り組み、心身共にたくましい子どもを育てます。

公：地域の人やものに感謝の気持ちをもって接し、持続可能な社会に目を向け積極的に行動する子

- ・学んだことを実生活に生かし、自分ができることを積極的に取り組むことができる子どもを育てます。

開：様々な人とのコミュニケーションを通して 社会への視野を広げる子

- ・多様性を尊重し、持続可能な社会の実現に向けて人と協働できる子どもを育てます。

保護者の皆様方・地域の皆様方におかれましては、恩田小学校の一員として、学校と地域が一つのコミュニティーとなるように、学校教育の充実に向けてお力添えをいただきますよう1年間よろしく願いいたします。